



私たちのキーワード

複雑なUL規格ラベルの仕様をITを活用してオープン化する

株式会社 タック印刷

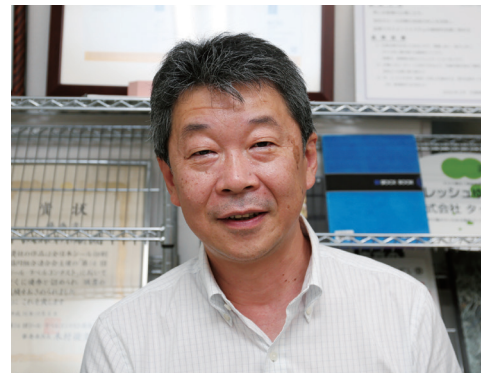
UL規格ラベルの仕様をWeb公開する仕組みを開発 クイックレスポンスで提供が可能に

採択テーマ

エンジニア向けUL規格ラベルのオープンサービス化

事業内容

粘着フィルムに印刷加工する技術を強みとして1961年に創業。以来、工業製品向けのラベルを中心に製造。リーマン・ショック後は会社の強みをブラッシュアップし、新しい加工技術であるレーザーマーカも導入しました。精密機器、産業機械、医療機器メーカーの設計開発・生産技術部門のエンジニアをターゲットに新規顧客獲得を進めています。



代表取締役: 高田 朋幸さん

多岐にわたるラベル仕様のサンプルをサイトで公開

UL規格とは、試験・認証を行う米国UL LLC社が定めた安全規格。電気器具や精密機械、建築材料など幅広い分野で規定されています。その歴史と実績から、米国の多くの州で販売される製品にはUL規格認証取得が重要な条件になっています。タック印刷が提供するのには部品・材料を対象としたUL規格認定ラベル。ラベルの材質や仕様は複雑で多岐にわたります。そこで、本事業の支援を活用。精密機器・医療機器等の技術者向けにUL規格ラベルのサンプルを公開するシステムづくりにチャレンジ。さらに営業支援としてバックヤード業務の効率化を目指しました。



UL規格ラベルをわかりやすく探せるようにドリルダウン型コンテンツライブラリシステムを開発。ラベル検索が容易で、被着体や素材のラインナップも豊富。

営業スタッフを中心に一体となってシステムを完成

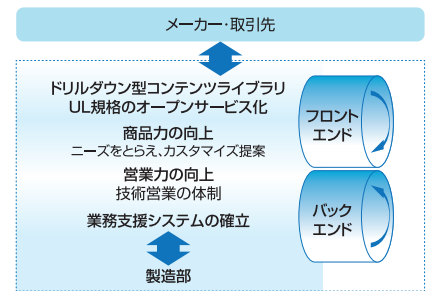
UL規格ラベルをわかりやすく検索しやすくするために取り組んだのがWeb商品カタログ(ドリルダウン型コンテンツライブラリ)の開発。しかし、支援期間中に事業が完成できるか不安だったと高田代表は振り返ります。「あわてて取り組んだことで、効果が出せない事業になってしまうのではないかと。そんな不安がありました。しかし、営業スタッフを中心に積極的に取り組んでくれました」(高田さん)。システムの完成によってUL規格ラベルのオープンサービス化が図られ、受注から出荷までの営業業務の効率化も実現。会社のIT化に向けて着実にスタートを切ることができました。



多様なニーズに対応するために業務支援システムを導入。受注入力省力化、発注予定情報を活用した在庫管理など営業業務の効率化が実現。営業力も向上しました。

新規取引先が増加 クイックレスポンスで対応

ラベル印刷の少ロット多品種化の加速に対応できるように取り組んだシステムは、同時にさまざまなメリットをもたらしました。その一つが新規受注の確保。取引先は年々増加傾向にあります。さらに業務の「見える化」も成果の一つ。1日平均70件の受注を営業スタッフ4名でこなし、個々の受注案件の進行状況を全スタッフがリアルタイムで目視でき、クイックレスポンスでの顧客対応が可能になりました。顧客満足度も社内満足度も向上。「コロナ禍でも事業申請時に立てた収益計画に近い推移で事業が進んでいます」と高田社長は、IT化によるさらなる可能性も見据えています。



目標達成に向けて具体的な枠組みや計画を策定。このスキームを部署の垣根を超えて社員が共有し、UL規格ラベルのオープンサービス化を進めました。

会社概要

所在地: 東京都墨田区業平一丁目9番7号 ■ TEL: 03-3623-4034
URL: <https://www.takprint.co.jp> ■ 代表取締役: 高田 朋幸 ■ 設立: 1965年3月 ■ 資本金: 888万円